

授業科目	特別支援教育論(障がい児保育含む) (CD クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH21411J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	松本 真理子							
授業概要	障がいのある子どもの発達上の課題や障がい特性を理解し、適切な援助方法を見出せるよう、実践事例を用いながら授業を展開する。家庭や地域での療育・相談機関との連携も含めた保育者としての対応が検討できるよう教授する。11月10日以降は遠隔授業とする。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>障がいの定義と障がい児保育及び特別支援教育の理念が説明できる。</li> <li>様々な障がい特性について説明できる。</li> <li>障がい特性に合わせた保育上の留意点をあげることができる。</li> <li>障がい児保育場面における具体的な支援方法をあげることができる。</li> <li>障がい児保育及び特別支援教育に関連した療育・相談機関の種類と内容を説明することができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	50	0	0	50	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		40			20		60	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)		10			30		40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> <li>障がい児保育及び特別支援教育の理念を理解し説明できる。</li> <li>それぞれの障がいに対してその特性を説明することができる。</li> <li>障がい児保育場面における具体的な支援方法を説明し、実践の可能性について考えることができる。</li> <li>自分の居住地における障がい児保育に関連した療育・相談機関について説明することができる。</li> </ol>				<ol style="list-style-type: none"> <li>障がいの定義を理解し説明することができる。</li> <li>様々な障がいがあることについて理解し説明できる。</li> <li>保育場面における障がい特性に合わせた具体的な支援方法をあげることができる。</li> </ol>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション;授業の進め方や成績評価等について説明する。 障がいの定義と障がい児保育の理念について;障がいの定義や障がい児保育の理念について解説する。	講義	講義の内容を教科書で復習する	20
2	障がい児教育の歴史と共生社会;障がい児を取り巻く社会の変遷と障がい児を取り巻く教育の発展について解説する。共生社会の実現をふまえたインクルーシブな教育・保育のあり方について考察する。	講義	授業で取り上げる教科書の範囲を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
3	発達過程と障がい;障がいを理解するうえで基本となる発達過程について振り返る。脳の発達と構造について解説する。感覚統合を始めとする「療育」について解説する。	講義	授業で取り上げる教科書の範囲を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
4	障害の理解と保育① 知的障害; 知的障害が疑われる子どもの特徴や保育的配慮について解説する。	講義	授業で取り上げる教科書の範囲を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
5	障害の理解と保育② 肢体不自由・重症心身障害; 肢体不自由とその代表例である脳性まひ、重症心身障害について解説し、肢体不自由・重症心身障害のある子どもの保育について解説する。	講義	授業で取り上げる教科書の範囲を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
6	障害の理解と保育③ 発達が気になる子どもの理解と保育;発達が気になる子どもの特徴と、保育上の対応と援助について解説する。	講義	授業で取り上げる教科書の範囲を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
7	障害の理解と保育④ 自閉症スペクトラム障害、学習障害、注意欠如・多動性障害の理解と保育について解説する。	講義	授業で取り上げる教科書の範囲を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
8	多様な支援を必要とする子どもの理解と保育; 発達のための環境が不十分である、もしくは複雑になっている子ども一代表例として外国につながる子どもと子どもの貧困一について、その理解と保育について解説する。	講義	授業で取り上げる教科書及び資料等を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
9	障害児保育・特別支援教育の実際① 子ども理解に基づく計画の作成と記録・評価; 障害のある子どもの保育計画を立てる際に必要な子ども理解の方法と関わり方、記録の方法、計画の立て方、個別の指導計画の作成、評価について解説する。	講義	授業で取り上げる教科書及び資料等を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
10	障害児保育・特別支援教育の実際② 個々の発達をうながす生活やあそびの環境; 子どもの自発性と保育の環境、他者との交流、外界とのかかわりが拡がらない子どもの理解と保育者の援助について解説する。	講義	授業で取り上げる教科書及び資料等を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
11	家庭及び関係機関との連携; 障害のある子どもの家庭や関係機関との連携について解説する。	講義	授業で取り上げる教科書の範囲を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
12	障害の理解と保育⑤ 視覚障害; ロービジョンキットを使って見えにくい子どもの理解と保育について体験的に理解する。	講義 ワーク	授業で取り上げる教科書及び資料等を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20

13	障害の理解と保育⑥ 聴覚障害・言語障害 聴覚障害・言語障害のある子どもの理解と保育について解説するとともに、簡単な手話と指文字を使って自己紹介する方法を体験する。	講義 ワーク	授業で取り上げる教科書及び資料等を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
14	課程及び関係機関との連携② 障害のある子どもの早期発見と支援； 健康診査制度、発達相談、療育資源について解説するとともに、就学に向けての支援について概観する	講義	教科書の該当箇所を読んでおく 講義の内容を教科書で復習する	20
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「保育の心理学 1」で乳幼児の心身発達についての知識を身につけておくことが望ましい			
テキスト	別途指示			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	小橋明子ほか 2019 障がい児保育 中山書店 大塚玲 2019 特別支援教育入門 萌文書林 浜谷直人ほか 2018 多様性がいきるインクルーシブ保育 前田泰弘 2016 実践に生かす障害児保育 萌文書林 内閣府・文部科学省・厚生労働省 2017 平成 29 年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本 チャイルド社			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	パラリンピックのニュースや NHK E テレ「バリバラ」「ハートネット」「ろうを生きる」といった情報番組に触れ、障がいのある人たちの生活についてのイメージをもって授業に臨むと理解が深まります。教科書などの書籍から正確な情報を収集し、保育者として正しい知識を身につけることを意識してください。
達成度評価に関するコメント	保育者として障がいについての正しい知識を身につけることが評価の対象になります。小テストをほぼ毎回行い、前回の講義内容の理解を確認します。小テストを全体の評価の半分とします。体験を通して理解できるよう、ワークを行ったりグループディスカッションを行います。ワークやディスカッションに主体的・積極的に参加することが望まれます。毎回の授業の終わりにリフレクションシートを書いていただき、理解したこと、考えたことを振り返っていただきます。毎回のリフレクションシートでの振り返りを評価の半分とします。